



ResiCem

Dental Adhesive Resin Cement

レジセム

歯科接着用レジンセメント

要冷蔵



使用説明書

使用に際しては、記載の使用上の注意をよく読んでください。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社●〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

SHOFU INC.

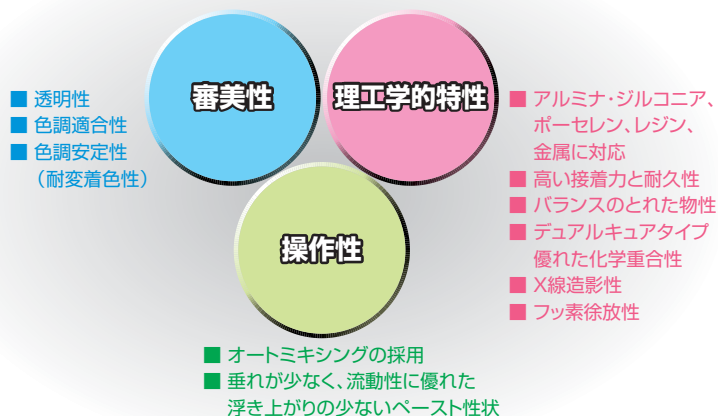
はじめに

この度はレジセムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本材を正しくご使用いただくために、ご使用前に本説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

レジセムはデュアルキュアタイプのコンポジット系レジンセメントと歯質接着に有効なセルフエッチングプライマーからなる、歯科接着用レジンセメントです。

従来の歯科接着用レジンセメントの審美性・接着性・操作性を追求し、「各種修復物に対応できる透明性」、「各種プライマーによる充実した接着システム」、「オートミキシングによる快適な操作性」、「垂れが少なく、流動特性に優れた、浮き上がりのないペースト性状」を実現しました。

本材は、アルミナ・ジルコニア・陶材・硬質レジン・歯科用金属などで製作した歯冠修復物および欠損補綴物の装着からリペアまで幅広い症例にご使用いただけます。



目次

○安全上の警告、注意

- 1. 使用上の注意 4
- 2. 重要な基本的注意 4
- 3. 使用方法に関連する使用上の注意 5
- 4. 貯蔵・保管方法 5

○製品の概略

- 1. 使用目的 6
- 2. 特長 6
- 3. 商品構成と用途 6
- 4. 包装 7

○使用方法

- 1. 基本操作 8,9
- 2. 使用例
 - アルミナコーピングおよびジルコニアフレームの接着 10
 - ポーセレンおよびハイブリッドタイプ硬質レジン (ジャケットクラウン、インレー、アンレー) の接着 11
 - ポーセレンおよびハイブリッドタイプ硬質レジン (ラミネートベニア) の接着 12
 - 貴金属合金、非貴金属合金および純金属 (クラウン、ブリッジ、インレー、アンレーおよびポストコア) の接着 13
 - レジンコア (支台歯) と修復物の接着 14
 - 金属コア (支台歯) と修復物の接着 15
 - ポーセレンおよび硬質レジンのリペア (破折片を用いる場合) 16

○技術仕様

- 1. 色調 17
- 2. 接着強さ 17
- 3. 硬化特性 18
- 4. 理工学的特性 18

安全上の警告、注意

禁忌・禁止

本材またはメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

1. 使用上の注意

- 本材は可燃性であるため、必ず火気を避けて使用すること。
- 本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
- 他の製品のプライマー、ペーストとの混用は行わないこと。
- 歯科重合用光照射器を使用時は、術者は照射光の直視を避け、保護眼鏡や遮光板等を使用すること。
- 本材は、使用用途の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- 本材は、歯科医療有資格者以外が使用しないこと。

2. 重要な基本的注意

- 本材の使用により発疹、温疹、発赤潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 本材の使用により発疹、温疹、発赤潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 本材又はメタクリル酸系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- プライマーA液とB液の混和液は、歯肉等の粘膜に付着した部分が白っぽくなる場合がありますが、これは一過性の現象ですので、2～3日で白変は消失します。なお、白変部分には直接的な刺激（強いブラッシング等）を与えないように配慮すること。
- 本材および練和物は接触による過敏症を防ぐため、プラスチック手袋、ゴム手袋等を使用し、直接素手で触れないこと。また、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。口腔軟組織や皮膚に付着した場合はすぐにアルコールを含んだ綿等で拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
- 処置する際は、排唾管を作動させ、患者の口腔内の空気の流れを良くしておくこと。

3. 使用方法に関連する使用上の注意

- シリンジを初めて使用する場合はキャップを取り外した後、ノズル先端部に空気が内在しているので、少量のペーストを押し出して、ペーストが均等に出ることを確認してから使用すること。
- シリンジにミキサーチップを装着する際は、ミキサーチップをシリンジの先端の溝にあわせて押し込み、時計回りに1/4回転させた後使用すること。
- 使用後はキャップを再装着するか、使用したミキサーチップを装着したまま保管し、次回使用する際、新しいミキサーチップを装着すること。
- キャップを再装着する場合は、キャップに付着しているペーストを十分に拭き取ってから装着すること。
- ペーストは口腔内の歯牙に直接塗布しないこと。必ず修復物側に塗布を行い、プライマーを塗布した歯面側には塗布しないこと。
- 形成面が歯髄に近い場合は、覆髄材により保護すること。（ただし、ユージノール系裏層材は使用しないこと。）
- 修復物の被着面が処理後に唾液・血液等で汚染された場合には、中性洗剤を用いて超音波洗浄を行なったあと、流水下で水洗すること。
- ペーストやプライマーは、使用する前に冷蔵庫から出し、室温に戻してから使用すること。
- プライマーやペーストが隣在歯に付着して硬化すると除去が困難となるため、予めポリエステルフィルム（ポリストリップス）等を歯間部に使用すること。
- プライマーAおよびプライマーBは採取後、速やかに使用すること。
- プライマーA・B処理面とペーストが接触すると硬化が促進されるため、プライマーA・Bは歯面側に塗布すること。なお、修復物には塗布しないこと。
- 長期間で使用にならない場合には、シリンジ先端部のペーストが固くなっている場合があるので、先端部の固くなった部分のペーストを廃棄して使用すること。
- ペーストやプライマーは、使用後直ちにキャップを閉めて、火気の近くに置かないこと。また、直射日光を避け、使用後は必ず冷蔵庫（1～10℃）に保管すること。ペーストはキャップをせずに放置すると硬化するので特に注意すること。

4. 貯蔵・保管方法

- 本材は直射日光および火気を避けて冷蔵庫（1～10℃）で保管すること。

製品の概要

1.使用目的

- アルミナコーピングおよびジルコニアフレームの接着
- ポーセレンや硬質レジンによるラミネートベニア、クラウン、インレーおよびアンレーの接着
- 歯科用金属によるフレーム（ポーセレンおよびハイブリッドタイプ硬質レジン）、クラウン、ブリッジ、インレーおよびアンレーの接着
- その他
 - 各種ポスト、レジンコアおよび金属コアの接着
 - 各種修復物のリペア

2.特長

〔審美性〕

- 審美補綴に最適な透明性・色調適合性・色調安定性（耐変着色性）

〔操作性〕

- オートミキシングによる快適な操作性
- 垂れが少なく、かつ優れた流動特性を有し、浮き上がりの少ないペースト性状
- 優れたバリの除去性

〔理工学的特性〕

- 高強度セラミックス（アルミナコーピングおよびジルコニアフレーム）、ポーセレン、硬質レジンおよび金属に対応
- 高い接着力と耐久性
- 化学重合性に優れたデュアルキュア特性
- X線造影性
- フッ素徐放性

3.商品構成と用途

●レジセム ペースト オートミキシング（3色、5mL）

可視光線エネルギーによって硬化すると同時に、常温重合機能も有するデュアルキュアタイプの歯科接着用レジンセメントです。

- クリア（C）：透明性に優れたセメントです。幅広い色調の修復物に適合します。
- アイボリー（I）：透明性のある歯冠色のセメントです。
- オベーク（O）：高い遮蔽性を付与したセメントです。

●レジセム プライマーA、B（プライマーA・・・3.0mL、プライマーB・・・2.5mL）

2液混和型のセルフエッチングプライマーです。ペーストとセルフエッチングプライマーが接触することにより硬化が促進され、歯質に対して強固に接着します。

関連商品

〔AZプライマー〕

アルミナコーピングおよびジルコニアフレームに対して、接着性を増強させるための高強度セラミックス対応の1液性プライマーです。

〔松風ポーセレンプライマー〕

歯科用陶材、セラミックスまたは無機物フィラーを含む硬質レジンなどのレジン系材料に対して、接着性を増強させる1液性プライマーです。

〔メタルリンク〕

歯科用貴金属合金・非貴金属合金および純金属に対して、接着性を増強させるための1液性金属接着性プライマーです。

4.包装

〔レジセム ベーシックセット〕

- レジセム ペースト オートミキシング（C）・・・5mL 2本
- レジセム プライマーA・・・3.0mL 1本
- レジセム プライマーB・・・2.5mL 1本
- 松風ミキサーチップ・・・20個
- マイクロチップファイン（ピンク）・・・50本 1組（ハンドル 1本、アプリーターチップ 50本）
- プチディッシュ・・・1個

〔単品〕

- レジセム ペースト オートミキシング
 - クリア（C）・・・5mL 1本（松風ミキサーチップ10個付）
 - アイボリー（I）・・・5mL 1本（松風ミキサーチップ10個付）
 - オベーク（O）・・・5mL 1本（松風ミキサーチップ10個付）
- レジセム プライマー
 - レジセム プライマーA・・・3.0mL 1本
 - レジセム プライマーB・・・2.5mL 1本

〔別売品〕

- 松風ミキサーチップ・・・50個
- マイクロチップファイン（ピンク）・・・500本 1組（ハンドル 4本、アプリーターチップ 500本）
- プチディッシュ・・・1個

〔関連商品〕

- AZプライマー・・・5mL 1本
- 松風ポーセレンプライマー・・・5mL 1本
- メタルリンク・・・5mL 1本
- インバーバوند エッチングゲル・・・6mL 1本

使用方法

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

1.基本操作

修復物の前処理



①修復物の被着面にアルミナでサンドブラスト処理を行います。
〔サンドブラストのゲージ圧〕

被着面の材質	MPa
陶材・硬質レジン	約0.1~0.2
アルミナ・ジルコニア	約0.2~0.3
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	約0.3~0.5

②修復物の被着面が、陶材やハイブリッドタイプ硬質レジンの場合には「松風ポーセレンプライマー」、アルミナ・ジルコニアの場合には「AZプライマー」、貴金属・非貴金属合金および純金属には「メタルリンク」で処理します。それぞれのプライマーは**10秒間**自然乾燥を行います。

被着面の材質	適用するプライマー	処理時間
陶材・硬質レジン	松風ポーセレンプライマー	10秒
アルミナ・ジルコニア	AZプライマー	10秒
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	メタルリンク	10秒

窩洞・支台歯の前処理



- ①仮封材・仮着材を除去し、通法に従い、窩洞・支台歯の清掃を行います。
- ②残存象牙質が薄い場合は、水酸化カルシウム製剤などで覆髄処置を行います。
- ③防湿（ラバーダムなどを用いる）または簡易防湿を行います。
- ④プライマーA、Bを等量（1滴ずつ）ディッシュなどに採取し、混合後、マイクロチップなどを用い、歯質（エナメル質/象牙質）に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。

注意 ラミネートベニア修復の場合には、エナメル質をリン酸エッチング材（「インバーバボンド エッチングゲル」など）で処理後、プライマーA・Bで処理を行います。

注意 支台歯がレジンコアや金属コアの場合には、それぞれ、「メタルリンク」、「松風ポーセレンプライマー」で処理後、歯質の部分をプライマーA・Bで処理します。

支台歯	適用するプライマー	処理時間
レジンコア	松風ポーセレンプライマー	10秒間自然乾燥
金属コア	メタルリンク	10秒間自然乾燥

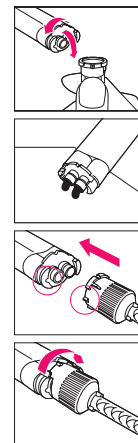
ペーストの塗布



注意 プライマーA・B塗布面にペーストが接触すると、ペーストの硬化が促進され、修復物の浮き上がりの原因となることがありますので、必ず修復物側にペーストを塗布し、歯面側には塗布しないでください。

①シリンジおよび付属品の準備

- キャップを反時計回りに1/4回転させキャップの突起部とシリンジの溝部を合わせ、下方向に折るようにより取り外します。
- ペーストを少量押し出し、ペーストA、Bが均等に出ることを確認します。（2回目以降も、同様にご確認ください。）
- ミキサーチップをシリンジの溝に合わせ奥まで押し込み、時計回りに1/4回転させて装着します。



②ペーストの塗布

プランジャーを親指または親指の付け根で操作してペーストを押し出し、前処理した修復物の被着面に塗布します。

修復物の装着

修復物を窩洞・支台歯に装着、圧接します。

注意 レジセム プライマーA・B処理面とレジセム ペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

余剰スペースの除去

あふれ出た余剰ペーストをマイクロブラシなどで丁寧に除去します。

セメントの硬化

歯科重合用光照射器を用いて光照射します。光の届かない部分は化学重合で硬化します。化学重合による口腔内での標準的な硬化時間は**約4分**です。

歯科重合用光照射器	標準的な照射時間
ハロゲン照射器	20秒
LED照射器*	10秒
プラズマーク照射器	9秒

*LED照射器：放射照度（有効波長域440~490nm）が1.200mW/cm²以上である照射器【例：キュアノス（株式会社 松風）】

研磨・仕上げ

通法に従い、マージン部の仕上げ研磨および咬合調整を行います。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

2.使用例

●アルミナコーピングおよびジルコニアフレームの接着

(1) 修復物の被着面処理

- ①アルミナサンドブラスト処理(0.2~0.3MPa)後、水洗・乾燥します。
- ②AZプライマーをマイクロチップなどを用いて一層塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



AZプライマー

(2) 歯面処理

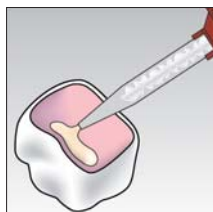
- ①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
- ②マイクロチップなどを用い、歯質(エナメル/象牙質)に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。



レジセム
プライマーA プライマーB

(3) ペーストの塗布

- ①ペーストを押し出し、前処理した修復物の被着面に塗布します。



レジセム ペースト

(4) ペーストの硬化・仕上げ

- ①修復物を支台歯に装着・圧接し、あふれ出た余剰ペーストをマイクロブラシなどで丁寧に除去します。



注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

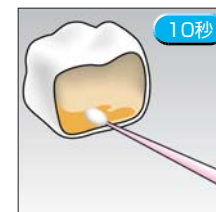
- ②歯科重合用光照射器を用いて、セメントマージンを含み光照射します。光の届かない部分は化学重合で硬化します。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●ポーセレンおよびハイブリッドタイプ硬質レジン(ジャケットクラウン、インレー、アンレー)の接着

(1) 修復物の被着面処理

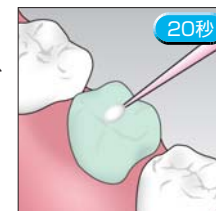
- ①アルミナサンドブラスト処理(0.1~0.2 MPa)後、水洗・乾燥します。
- ②松風ポーセレンプライマーをマイクロチップなどを用いて一層塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



松風ポーセレンプライマー

(2) 歯面処理

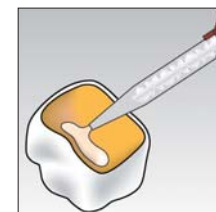
- ①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
- ②マイクロチップなどを用い、歯質(エナメル/象牙質)に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。



レジセム
プライマーA プライマーB

(3) ペーストの塗布

- ①ペーストを押し出し、前処理した修復物の被着面に塗布します。



レジセム ペースト

(4) ペーストの硬化・仕上げ

- ①修復物を支台歯に装着・圧接し、あふれ出た余剰ペーストをマイクロブラシなどで丁寧に除去します。



注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

- ②歯科重合用光照射器を用いて、セメントマージンを含み光照射します。光の届かない部分は化学重合で硬化します。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●ポーセレンおよびハイブリッドタイプ硬質レジン(ラミネートベニア)の接着

(1) 修復物の被着面処理

- ①アルミナサンドブラスト処理(0.1~0.2 MPa)後、水洗・乾燥します。
- ②マイクロチップなどを用いて、「松風ポーセレンプライマー」を一層塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



松風ポーセレンプライマー

(2) 歯面処理-1

- ①エナメル質を「インパーバボンド エッチングゲル」で**15秒間**処理し、水洗・エア乾燥を行います。



インパーバボンド
エッチングゲル

(3) 歯面処理-2

- ①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
- ②マイクロチップなどを用い、歯質(エナメル/象牙質)に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。



レジセム
プライマー-A プライマー-B

(4) ペーストの塗布

- ①ペーストを押し出し、前処理した修復物の被着面に塗布します。

注意 修復物側にペーストを塗布し、歯面側には塗布しないでください。



レジセム ペースト

(5) ペーストの硬化・仕上げ

- ①修復物を支歯に装着・圧接し、あふれ出た余剰ペーストをマイクロブラシなどで丁寧に除去します。

注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

- ②歯科重合用光照射器を用いて、セメントマージンを含み光照射します。光の届かない部分は化学重合で硬化します。

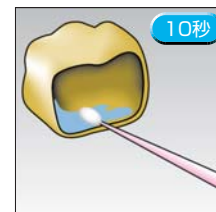


注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●貴金属合金・非貴金属合金および純金属(クラウン、ブリッジ、インレー、アンレーおよびポストコア)の接着

(1) 修復物やコアの被着面処理

- ①アルミナサンドブラスト処理(0.3~0.5 MPa)後、水洗・乾燥します。
- ②マイクロチップなどを用いて、「メタルリンク」を一層塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



メタルリンク

(2) 歯面処理

- ①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
- ②マイクロチップなどを用い、歯質(エナメル/象牙質)に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。

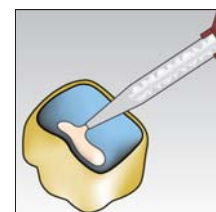


レジセム
プライマー-A プライマー-B

(3) ペーストの塗布

- ①ペーストを押し出し、前処理した修復物やコアの被着面に塗布します。

注意 修復物側にペーストを塗布し、歯面側には塗布しないでください。



レジセム ペースト

(4) ペーストの硬化・仕上げ

- ①修復物を支歯に装着・圧接し、あふれ出た余剰ペーストを、マイクロブラシなどで丁寧に除去します。

注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

- ②歯科重合用光照射器を用いて、セメントマージンを含み光照射します。光の届かない部分は化学重合で硬化します。



化学重合による、口腔内での硬化時間はおおよそ4分です。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●レジンコア（支台歯）と修復物の接着

（1）修復物の被着面処理

- ①修復物の被着面にアルミナでサンドブラスト処理を行います。

〔サンドブラストのゲージ圧〕

被着面の材質	MPa
陶材・硬質レジン	約0.1～0.2
アルミナ・ジルコニア	約0.2～0.3
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	約0.3～0.5

- ②修復物の各被着面に応じ、プライマー処理を行います（10秒間自然乾燥）。

被着面の材質	適用するプライマー
陶材・硬質レジン	松風ポーセレンプライマー
アルミナ・ジルコニア	AZプライマー
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	メタルリンク

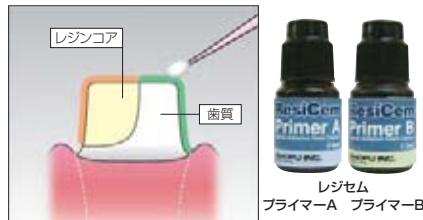
（2）支台歯（レジンコア部分）の処理

- ①「松風ポーセレンプライマー」をレジンコア面に処理後、**10秒間**自然乾燥します。



（3）支台歯（歯質部分）の処理

- 歯質の部分をプライマーA・Bで処理します。
①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
②マイクロチップなどを用い、歯質（エナメル/象牙質）に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。



（4）ペーストの塗布、装着、余剰ペーストの除去、ペーストの硬化、仕上げ

ペーストの塗布 → 装着 → 余剰ペーストの除去 → ペーストの硬化 → 仕上げ

の操作は前述の基本操作に従ってください。

注意 修復物側にペーストを塗布し、歯面側には塗布しないでください。

注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●金属コア（支台歯）と修復物の接着

（1）修復物の被着面処理

- ①修復物の被着面にアルミナでサンドブラスト処理を行います。

〔サンドブラストのゲージ圧〕

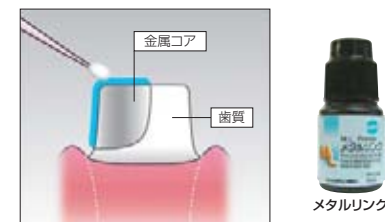
被着面の材質	MPa
陶材・硬質レジン	約0.1～0.2
アルミナ・ジルコニア	約0.2～0.3
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	約0.3～0.5

- ②修復物の各被着面に応じ、プライマー処理を行います（10秒間自然乾燥）。

被着面の材質	適用するプライマー
陶材・硬質レジン	松風ポーセレンプライマー
アルミナ・ジルコニア	AZプライマー
貴金属合金・非貴金属合金・純金属	メタルリンク

（2）支台歯（金属コア部分）の処理

- ①「メタルリンク」を金属コア面に処理後、**10秒間**自然乾燥します。



（3）支台歯（歯質部分）の処理

- 歯質の部分をプライマーA・Bで処理します。
①プライマーA、Bを等量ディッシュなどに採取し、混合します。
②マイクロチップなどを用い、被着面の歯質（エナメル/象牙質）に塗布し、**20秒間**放置後、エア乾燥を行います。



（4）ペーストの塗布、装着、余剰ペーストの除去、ペーストの硬化、仕上げ

ペーストの塗布 → 装着 → 余剰ペーストの除去 → ペーストの硬化 → 仕上げ

の操作は前述の基本操作に従ってください。

注意 修復物側にペーストを塗布し、歯面側には塗布しないでください。

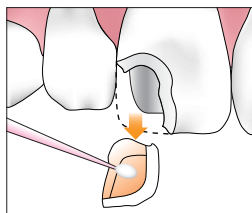
注意 プライマーA・B処理面とペーストが接触してからの操作余裕時間は**約30秒**です。

注意 プライマー類およびペーストは室温に戻してからご使用ください。

●ポーセレンおよび硬質レジンのリペア（破折片を用いる場合）

（1）破折片の被着面処理

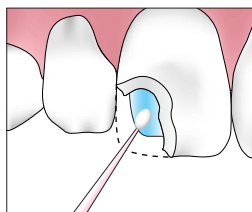
- ①アルミナサンドブラスト処理（0.1～0.2 MPa）後、水洗・乾燥します。
- ②マイクロチップなどを用いて、「松風ポーセレンプライマー」を一層塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



松風ポーセレンプライマー

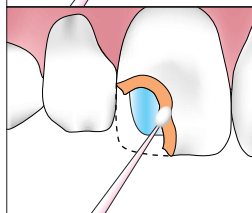
（2）口腔内破折面の処理

- ①破折面の形成
- ②金属面が露出している場合、マイクロチップなどを用い、金属面に「メタルリンク」を塗布し、**10秒間**自然乾燥を行います。



メタルリンク

- ③破折面に「松風ポーセレンプライマー」を塗布し、**10秒間**自然乾燥します。



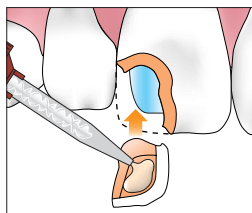
松風ポーセレンプライマー

（3）ペーストの塗布

- ①ペーストを押し出し、前処理した破折片の被着面に塗布します。



レジセム ペースト



（4）ペーストの硬化・仕上げ

- ①破折片を破折面に装着・圧接し、あふれ出た余剰ペーストをマイクロブラシなどで丁寧に除去します。
- ②歯科重合用光照射器を用いて、セメントマージンを含み光照射します。
光の届かない部分は化学重合で硬化します。

技術仕様

1.色調



クリア (C) : 透明性に優れたセメントです。幅広い色調の修復物に適合します。
アイボリー (I) : 透明性のある歯冠色のセメントです。
オペーク (O) : 金属色などの遮蔽に有効です。

2.接着強さ

被着体（商品名）		表面処理材	引張接着強さ（MPa）	
			37℃水中保管 24時間後	サーマルサイクル 2000回後
歯質	エナメル質	レジセム プライマーA,B	17.8	17.2
	象牙質	レジセム プライマーA,B	12.6	12.2
陶材（ヴィンテージ ハロー）		松風ポーセレンプライマー	22.3	18.5
硬質レジン（セラマージュ）		松風ポーセレンプライマー	12.1	12.4
アルミナ		AZプライマー	22.8	19.8
ジルコニア		AZプライマー	18.0	16.2
金銀パラジウム合金		メタルリンク	12.4	10.1
金合金（スーパーゴールドタイプ4）		メタルリンク	13.3	12.8

（自社試験法による）

3.硬化特性

- (1) 可視光線エネルギーによって硬化すると同時に、常温重合機能も有するデュアルキュアタイプの歯科接着用レジンセメントです。
- (2) ミキサーチップを装着しペーストを押し出すと自動的に練和され、化学重合によって硬化します。口腔内では、装着後約4分で硬化します。
- (3) 光照射すると、光が到達した部分は速やかに硬化します。

(標準的な操作時間・操作余裕時間・硬化時間)

	室温 (23℃)	口腔内 (37℃)	
		プライマー有り ^{注)}	プライマー無し ^{注)}
操作時間	3分	—	—
装着後の操作余裕時間	—	30秒	90秒
装着後の硬化時間	—	4分	

注) プライマー有り・無しはレジセム プライマー-A・Bによる歯面処理の有無を示します。

(標準的な光照射時間)

光 照 射	ハロゲン照射器	20秒
	LED照射器*	10秒
	プラズマーク照射器	9秒

*LED照射器: 放射照度 (有効波長域440~490nm) が1,200mW/cm²以上である照射器 [例: キュアノス (株式会社 松風)]

4.理工学的特性

項 目	ISO4049	自社仕様	実測例
曲げ強さ (光・化学重合)	50MPa以上	100MPa以上	147MPa
被膜厚さ	50μm以下	15μm以下	9μm
吸水量	40μg/mm ³ 以下	40μg/mm ³ 以下	25μg/mm ³
溶解量	7.5μg/mm ³ 以下	5.0μg/mm ³ 以下	0μg/mm ³ (検出不能)
X線造影性 (アルミニウム板比較)	同じ厚さ以上	1.25倍以上	1.75倍

参考実測値: 曲げ強さ (化学重合のみ) 123MPa

【関連商品】



管理医療機器
医療機器認証番号 218AIBZX00019000
AZプライマー



管理医療機器
医療機器認証番号 218AIBZX00018000
**松風ポーセレン
プライマー**



管理医療機器 21500BZZ00224
メタルリンク



管理医療機器 2030BZZ01149
**インバーバوند
エッチングゲル**



管理医療機器 21800BZZ10011
ヴィンテージZR



管理医療機器 21500BZZ00139
ヴィンテージAL



管理医療機器 21500BZZ00247
セラマージュ



一般医療機器 26B1X00004
特定保守管理医療機器
キュアノス